

令和 6 年 11 月 12 日  
気象庁大気海洋部

## 配信資料に関するお知らせ

～線状降水帯の雨域（シェープファイル形式）誤りについて～  
（配信資料に関する仕様 No. 11103、配信に関する技術情報第 605 号関連）

線状降水帯の雨域（シェープファイル形式）について、プログラムの不具合により、楕円が誤った形となる場合があることが判明したため、プログラムの改修を行います。

令和 6 年 11 月 9 日 6 時 20 分に沖縄本島北部を対象に顕著な大雨に関する気象情報を発表した際に提供した線状降水帯の雨域においてこの不具合が発生しました。なお、雨域は、顕著な大雨に関する気象情報の発表基準（※）を満たしており、顕著な大雨に関する気象情報については影響ありません。また、過去に提供した線状降水帯の雨域ではこの不具合は現れていません。

現在、プログラム改修作業を進めており、不具合の修正が終了し改修プログラムの適用日が決まりましたら、その旨をお知らせいたします。なお、今回の改修によるファイル形式の変更はありません。

利用者の皆様にはご迷惑をおかけしますこととお詫びいたします。

### 1 不具合が現れた事例

令和 6 年 11 月 9 日 6 時 20 分（JST）の線状降水帯の雨域（シェープファイル形式）

### 2 不具合の概要

対象時刻の線状降水帯の雨域（シェープファイル形式）が、実際には横長の楕円となるべきところ、縦長の楕円となっていた。

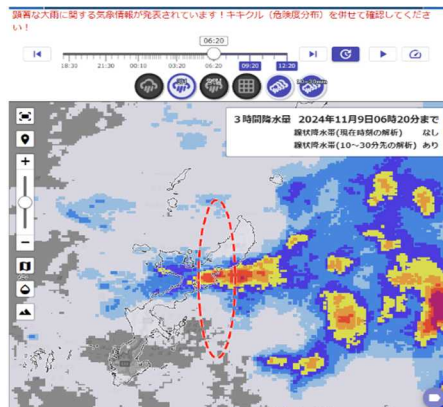


図 令和 6 年 11 月 9 日 6 時 20 分気象庁 HP「今後の雨」

赤点線が不具合があった線状降水帯の楕円（30 分先の雨量により検出された）

**※顕著な大雨に関する気象情報の発表基準**

1. 前 3 時間積算降水量 (5km メッシュ) が 100mm 以上の分布域の面積が 500km<sup>2</sup> 以上
2. 1.の形状が線状 (長軸・短軸比 2.5 以上)
3. 1.の領域内の前 3 時間積算降水量最大値が 150mm 以上
4. 1.の領域内の土砂キキクル (大雨警報(土砂災害)の危険度分布) において土砂災害警戒情報の基準を超過 (かつ大雨特別警報の土壌雨量指数基準値への到達割合 8 割以上) 又は洪水キキクル (洪水警報の危険度分布) において警報基準を大きく超過した基準を超過